

適用性「○」は、遠隔臨場が現地立会による確認行為と同等と評価できる項目

備考欄は、遠隔臨場による検査等が現地立会による検査等と同等と評価できないと判断している理由※理由(ア)(イ)(ウ)は実施要領第3章参照

施工管理要領	品質管理項目	工種	項目	適用性	備考
土工施工管理要領	盛土工 3-5R1計器による管理	モデル施工	敷均し回数およびまき出し厚さ、締固めの機種、規格および締固め回数、品質管理方法および管理基準値の検討		(ア)
	盛土工 3-10 路床の最終検査	ブルーフローリング	ブルーフローリングまたは、ローラ加速度応答法により、不良と思える路床部分を把握し、その部分について、たわみ量を測定		(ア)
	盛土工 6. 土質判定試験		土砂・軟岩・硬岩判定試験		(イ)
	3-2-2 品質管理 (基準試験)	セメントモルタル吹付工及びコンクリート吹付工 吹付用コンクリート及びモルタル	強度試験用供試体の作り方、圧縮強度試験、塩化物含有量 (Cl ⁻)	○	
	3-2-2 品質管理 (基準試験)	セメントモルタル吹付工及びコンクリート吹付工 施工性	材料の圧送状況、材料の吐出状況、材料の分離状況、リバウンド状況、締め固め状況等		(ア)
	3-2-3 施工管理試験	計量器管理基準 不合格の場合の措置	再検査		(イ)
	3-2-4 出来形基準	セメントモルタル吹付工及びコンクリート吹付工	吹付厚	○	
	3-3-2 品質管理 (基準試験)	吹付のり砕工 吹付用コンクリート及びモルタル	強度試験用供試体の作り方、圧縮強度試験、塩化物含有量 (Cl ⁻)	○	
	3-3-2 品質管理 (基準試験)	吹付のり砕工 施工性	材料の圧送状況、材料の吐出状況、材料の分離状況、リバウンド状況、締め固め状況等		(ア)
	3-3-4 出来形基準	吹付のり砕工	砕の長さ、砕の断面	○	
	3-4-4 出来形基準	現場打ち砕工	砕の長さ、砕の断面	○	
	3-5-2 品質管理 (基準試験)	切土補強土工 グラウトの配合試験	水セメント比、練混ぜ水温度、比重、流動性、ブリーディング率、圧縮強度、塩化物イオン量	○	
	3-5-5 出来形基準	切土補強土工 補強材の加工 グラウト注入	長さ、スペーサー、外観、注入量	○	
	3-6-2 品質管理 (基準試験)	繊維補強コンクリート 繊維補強コンクリート吹付	強度試験用供試体の作り方、圧縮強度試験、塩化物含有量 (Cl ⁻)、繊維混入率試験、強度試験用供試体の作り方、曲げタフネス試験	○	
	3-6-2 品質管理 (基準試験)	繊維補強コンクリート 施工性	施工性	○	
	4-1-2 品質管理 (基準試験)	グラウンドアンカー工 グラウトの配合試験	水セメント比、練混ぜ水温度、比重、流動性、ブリーディング率、圧縮強度、塩化物イオン量	○	
	4-1-3 出来形管理及び規定値	グラウンドアンカー工	施工記録	○	
	4-2-2 品質管理および出来形基準	抑止杭工	施工記録	○	
	4-3-3 出来形管理及び規定値	水抜ボーリング工	施工記録	○	
	4-4-3 出来形管理及び規定値	集水井工	施工記録	○	
3-2 GNSS機器設置位置の精度確認		GNSS機器設置位置の精度確認項目			(ウ)
植生のり面工 施工管理要領	4. のり面調査及び試験施工	4.1目的	のり面調査結果に基づく確認及び試験施工結果		(ア)(イ)
コンクリート 施工管理要領	6-1 立会検査の項目	コンクリート	試し練り	○	
	6-1 立会検査の項目	コンクリート	コンクリート打込み		(ア)
	6-1 立会検査の項目	コンクリート構造物	非破壊試験 (圧縮強度)	○	
	6-1 立会検査の項目	コンクリート構造物	非破壊試験 (鉄筋かぶり)	○	
	6-1 立会検査の項目	鉄筋	曲戻し試験 (基準試験)	○	
	6-1 立会検査の項目	ガス圧接による鉄筋継手	圧接施工試験 (基準試験)	○	
	6-1 立会検査の項目	ガス圧接による鉄筋継手	引張試験 (基準試験)	○	
	6-1 立会検査の項目	ガス圧接による鉄筋継手	外観試験・超音波探傷試験 (日常管理試験)	○	
	6-1 立会検査の項目	機械継手による鉄筋継手	引張試験 (基準試験)	○	
	6-1 立会検査の項目	機械継手による鉄筋継手	外観試験 (日常管理試験)	○	
	6-1 立会検査の項目	機械式鉄筋定着	引張試験 (基準試験)	○	
	6-1 立会検査の項目	機械式鉄筋定着	外観試験 (日常管理試験)	○	
	6-2 出来形基準	型わく	型わくの位置、形状、寸法等 (コンクリート打込み前確認)	○	
	6-2 出来形基準	鉄筋	鉄筋の位置、間隔、径等 (コンクリート打込み前確認)	○	
	6-2 出来形基準	PC鋼材	PC鋼材の配置、数量、保持間隔、定着具接続具の位置、鉄筋との取り合い等 (コンクリート打込み前確認)	○	
	6-2 出来形基準、6-3 出来形調書の作成	コンクリート構造物	出来形調書の作成・出来形検査	○	

適用性「○」は、遠隔臨場が現地立会による確認行為と同等と評価できる項目

備考欄は、遠隔臨場による検査等が現地立会による検査等と同等と評価できないと判断している理由※理由(ア)(イ)(ウ)は実施要領第3章参照

施工管理要領	品質管理項目	工種	項目	適用性	備考
構造物施工管理要領	II 2-2 直接基礎	直接基礎	支持層の確認		(ア)
	II 2-2 直接基礎	直接基礎	平板載荷試験	○	
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	コンクリートぐい	外観、形状寸法(現場)	○	
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	コンクリートぐい	試験ぐい		(ア)
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	コンクリートぐい	打止め(貫入量測定、支持力算定)	○	
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	鋼管ぐい、鋼管矢板、H鋼ぐい	外観、形状寸法	○	
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	鋼管ぐい、鋼管矢板、H鋼ぐい	現場溶接継手(外観検査)	○	
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	鋼管ぐい、鋼管矢板、H鋼ぐい	試験ぐい		(ア)
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	鋼管ぐい、鋼管矢板、H鋼ぐい	打止め(貫入量測定、支持力算定)	○	
	II 2-3-2 場所打ちぐい	機械掘削	支持層の確認		(ウ)
	II 2-3-2 場所打ちぐい	機械掘削	コアボーリングによるコンクリート圧縮強度試験	○	
	II 2-3-2 場所打ちぐい	機械掘削	トレミー管の管理		(ア)
	II 2-3-2 場所打ちぐい	機械掘削	載荷試験		(ア)
	共通仕様書7-2-4(1)4	機械掘削	検尺	○	
	II 2-3-2 場所打ちぐい	人力掘削(深礎工法 ライナープレート)	支持層の確認		(イ)(ウ)
	II 2-3-2 場所打ちぐい	人力掘削(深礎工法 ライナープレート)	裏込めグラウト(基準試験)	○	
	II 2-3-2 場所打ちぐい	人力掘削(深礎工法 ライナープレート)	裏込めグラウト(日常管理試験)	○	
	II 2-3-2 場所打ちぐい	人力掘削(深礎工法 ロックボルト・吹付けコンクリート)	支持層の確認		(イ)(ウ)
	II 2-3-2 場所打ちぐい	人力掘削(深礎工法 ロックボルト・吹付けコンクリート)	平板載荷試験	○	
	共通仕様書7-2-4(2)4	人力掘削	検尺	○	
	II 2-4-1 オープンケーソン	オープンケーソン	刃口の据付地盤の確認		(イ)
	II 2-4-1 オープンケーソン	オープンケーソン	刃口の据付	○	
	II 2-4-1 オープンケーソン	オープンケーソン	支持層の確認		(イ)
	II 2-4-2 ニューマチックケーソン	ニューマチックケーソン	刃口の据付地盤の確認		(イ)
	II 2-4-2 ニューマチックケーソン	ニューマチックケーソン	刃口の据付	○	
	II 2-4-2 ニューマチックケーソン	ニューマチックケーソン	支持層の確認		(イ)
	II 2-4-2 ニューマチックケーソン	ニューマチックケーソン	平板載荷試験	○	
	II 3-5 仮組立検査	鋼構造物	仮組立検査	○	
	II 3-8 塗装作業	塗装	現場塗装前の被塗装面、損傷部及び添接部の除錆程度		(ア)(イ)
	II 3-8 塗装作業	塗装	現場塗装の塗膜厚	○	
	II 3-8 塗装作業	塗装	仕上り塗膜の外観、色調		(ア)(イ)
	II 3-9 金属溶射	金属溶射	事前確認試験	○	
	II 3-10 架設検査	鋼構造物	架設検査		(ア)(イ)(ウ)
	II 3-11 高力ボルト締付検査	高力六角ボルト	締付検査	○	
	II 3-12 現場溶接部非破壊検査	現場溶接部非破壊検査	手動超音波探傷試験による抜取り検査	○	
	II 3-13 架設完了検査	鋼構造物	架設完了検査		(ア)(イ)(ウ)
	II 4-2 ポステンション方式	PC構造物	緊張装置のキャリブレーション	○	
	II 4-2 ポステンション方式	PC構造物	試験緊張		(ア)
	II 4-2 ポステンション方式	PC構造物	緊張管理	○	
	II 4-2 ポステンション方式	PC構造物	PCグラウト配合試験	○	
II 4-3 プレテンション方式	PC構造物	プレテンションPC桁の外観、寸法検査	○		
II 4-3 プレテンション方式	PC構造物	プレテンションPC桁のひび割れ確認試験	○		

適用性「○」は、遠隔臨場が現地立会による確認行為と同等と評価できる項目

備考欄は、遠隔臨場による検査等が現地立会による検査等と同等と評価できないと判断している理由※理由(ア)(イ)(ウ)は実施要領第3章参照

施工管理要領	品質管理項目	工種	項目	適用性	備考
構造物施工管理要領	II 2-2 直接基礎	直接基礎	支持層の確認		(ア)
	II 2-2 直接基礎	直接基礎	平板載荷試験	○	
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	コンクリートぐい	外観、形状寸法(現場)	○	
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	コンクリートぐい	試験ぐい		(ア)
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	コンクリートぐい	打止め(貫入量測定、支持力算定)	○	
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	鋼管ぐい、鋼管矢板、H鋼ぐい	外観、形状寸法	○	
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	鋼管ぐい、鋼管矢板、H鋼ぐい	現場溶接継手(外観検査)	○	
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	鋼管ぐい、鋼管矢板、H鋼ぐい	試験ぐい		(ア)
	II 2-3-1 既製ぐい(打込みぐいおよび中掘りぐい)	鋼管ぐい、鋼管矢板、H鋼ぐい	打止め(貫入量測定、支持力算定)	○	
	II 2-3-2 場所打ちぐい	機械掘削	支持層の確認		(ウ)
	II 2-3-2 場所打ちぐい	機械掘削	コアボーリングによるコンクリート圧縮強度試験	○	
	II 2-3-2 場所打ちぐい	機械掘削	トレミー管の管理		(ア)
	II 2-3-2 場所打ちぐい	機械掘削	載荷試験		(ア)
	共通仕様書7-2-4(1)4	機械掘削	検尺	○	
	II 2-3-2 場所打ちぐい	人力掘削(深礎工法 ライナープレート)	支持層の確認		(イ)(ウ)
	II 2-3-2 場所打ちぐい	人力掘削(深礎工法 ライナープレート)	裏込めグラウト(基準試験)	○	
	II 2-3-2 場所打ちぐい	人力掘削(深礎工法 ライナープレート)	裏込めグラウト(日常管理試験)	○	
	II 2-3-2 場所打ちぐい	人力掘削(深礎工法 ロックボルト・吹付けコンクリート)	支持層の確認		(イ)(ウ)
	II 2-3-2 場所打ちぐい	人力掘削(深礎工法 ロックボルト・吹付けコンクリート)	平板載荷試験	○	
	共通仕様書7-2-4(2)4	人力掘削	検尺	○	
	II 2-4-1 オープンケーソン	オープンケーソン	刃口の据付地盤の確認		(イ)
	II 2-4-1 オープンケーソン	オープンケーソン	刃口の据付	○	
	II 2-4-1 オープンケーソン	オープンケーソン	支持層の確認		(イ)
	II 2-4-2 ニューマチックケーソン	ニューマチックケーソン	刃口の据付地盤の確認		(イ)
	II 2-4-2 ニューマチックケーソン	ニューマチックケーソン	刃口の据付	○	
	II 2-4-2 ニューマチックケーソン	ニューマチックケーソン	支持層の確認		(イ)
	II 2-4-2 ニューマチックケーソン	ニューマチックケーソン	平板載荷試験	○	
	II 3-5 仮組立検査	鋼構造物	仮組立検査	○	
	II 3-8 塗装作業	塗装	現場塗装前の被塗装面、損傷部及び添接部の除錆程度		(ア)(イ)
	II 3-8 塗装作業	塗装	現場塗装の塗膜厚	○	
	II 3-8 塗装作業	塗装	仕上り塗膜の外観、色調		(ア)(イ)
	II 3-9 金属溶射	金属溶射	事前確認試験	○	
	II 3-10 架設検査	鋼構造物	架設検査		(ア)(イ)(ウ)
	II 3-11 高力ボルト締付検査	高力六角ボルト	締付検査	○	
	II 3-12 現場溶接部非破壊検査	現場溶接部非破壊検査	手動超音波探傷試験による抜取り検査	○	
	II 3-13 架設完了検査	鋼構造物	架設完了検査		(ア)(イ)(ウ)
	II 4-2 ポストテンション方式	PC構造物	緊張装置のキャリブレーション	○	
	II 4-2 ポストテンション方式	PC構造物	試験緊張		(ア)
	II 4-2 ポストテンション方式	PC構造物	緊張管理	○	
	II 4-2 ポストテンション方式	PC構造物	PCグラウト配合試験	○	
II 4-3 プレテンション方式	PC構造物	プレテンションPC桁の外観、寸法検査	○		
II 4-3 プレテンション方式	PC構造物	プレテンションPC桁のひび割れ確認試験	○		

適用性「○」は、遠隔現場が現地立会による確認行為と同等と評価できる項目

備考欄は、遠隔現場による検査等が現地立会による検査等と同等と評価できないと判断している理由※理由(ア)(イ)(ウ)は実施要領第3章参照

施工管理要領	品質管理項目	工種	項目	適用性	備考
構造物施工管理要領	II 5-2-1 ゴム支承	ゴム支承	組立て寸法	○	
	II 5-2-1 ゴム支承	ゴム支承	ゴム支承の基本性能（圧縮変形性能、せん断剛性（等価剛性）、減衰（等価減衰定数）、せん断変形性能）	○	
	II 5-2-1 ゴム支承	ゴム支承	防錆（溶融亜鉛めっき付着量、塗膜厚）	○	
	II 5-2-1 ゴム支承	ゴム支承	完成品の外観目視	○	
	II 5-2-1 ゴム支承	ゴム支承	据付け精度	○	
	II 5-2-2 鋼製支承	鋼製支承	形状寸法（高さ、部材寸法、ボルト孔、重量）	○	
	II 5-2-2 鋼製支承	鋼製支承	防食（溶融亜鉛めっき付着量、塗膜厚）	○	
	II 5-2-2 鋼製支承	鋼製支承	完成品の外観目視	○	
	II 5-2-2 鋼製支承	鋼製支承	据付け精度	○	
	II 5-2-3 無収縮モルタル	無収縮モルタル	注入作業	○	
	II 5-2-3 無収縮モルタル	無収縮モルタル	日常管理試験（コンシステンシー、温度、圧縮強度）	○	
	II 6 はく落防止対策	はく落防止対策	はく落防止の押抜き試験	○	
	II 7-3 コンクリート表面含浸	コンクリート表面含浸	使用材料の確認（品質規格証明書と照合、密度）	○	
	II 7-3 コンクリート表面含浸	コンクリート表面含浸	材料の使用量確認	○	
	III 2-1 塗替え塗装	塗替え塗装	塗料の抜取検査	○	
	III 2-1 塗替え塗装	塗替え塗装	塗装直前の素地調整程度の確認		(ア)
	III 2-1 塗替え塗装	塗替え塗装	塗膜厚	○	
	III 2-1 塗替え塗装	塗替え塗装	上塗りの最終工程完了時		(ア)
	III 3-3 断面修復	断面修復	左官工法による断面修復の基準試験（コンクリートとの付着性、圧縮強度）	○	
	III 3-3 断面修復	断面修復	吹付け工法による断面修復の基準試験（コンクリートとの付着性、圧縮強度、鉄筋背面への充填性）	○	
	III 3-3 断面修復	断面修復	打込み工法による断面修復の基準試験（コンクリートとの付着性、圧縮強度、鉄筋背面への充填性）	○	
	III 3-3 断面修復	断面修復	左官工法による断面修復の定期管理試験（コンクリートとの付着性、圧縮強度、設備の定期試験値との比較）	○	
	III 3-3 断面修復	断面修復	吹付け工法による断面修復の定期管理試験（コンクリートとの付着性、圧縮強度、設備の定期試験値との比較）	○	
	III 3-3 断面修復	断面修復	打込み工法による断面修復の定期管理試験（コンクリートとの付着性、圧縮強度、設備の定期試験値との比較）	○	
	III 3-3 断面修復	断面修復	断面修復の日常管理試験（使用材料の確認、材料使用量）	○	
	III 3-5 はく落防止	はく落防止	はく落防止の押抜き試験	○	
	III 3-7 プレストレス導入工	プレストレス導入工	緊結用緊張材の緊張管理		(ア)
	III 4-1 ブレキャストPC床版	ブレキャストPC床版	受入れ検査（外観検査、形状・寸法・非破壊試験（圧縮強度、鉄筋かぶり）の検査結果に記載の製品番号と搬入床版の製品番号との照合）	○	
	III 4-1 ブレキャストPC床版	ブレキャストPC床版	アークスタッド溶接施工	○	
	III 4-3 床版上面増厚工	床版上面増厚工	出来形管理（施工前、施工完成后）		(ア)(イ)(ウ)
	III 6-2 あと施工アンカー	接着系あと施工アンカー	基準試験（引張試験）	○	
	III 6-2 あと施工アンカー	接着系あと施工アンカー	定期管理試験（引張試験）	○	
III 6-2 あと施工アンカー	接着系あと施工アンカー	日常管理試験（アンカーボルト長さ試験）	○		
III 6-2 あと施工アンカー	金属系アンカー	基準試験（引張試験）	○		
III 6-2 あと施工アンカー	金属系アンカー	定期管理試験（引張試験）	○		

適用性「○」は、遠隔臨場が現地立会による確認行為と同等と評価できる項目

備考欄は、遠隔臨場による検査等が現地立会による検査等と同等と評価できないと判断している理由※理由(ア)(イ)(ウ)は実施要領第3章参照

施工管理要領	品質管理項目	工種	項目	適用性	備考
構造物施工管理要領	Ⅲ7-1 鉄筋コンクリート橋脚耐震補強	鋼板巻立て工法	高力ボルトの締付け後の検査	○	
	Ⅲ7-1 鉄筋コンクリート橋脚耐震補強	鋼板巻立て工法	溶接後の検査（外部きずの検査、内部きずの検査）	○	
	Ⅲ7-1 鉄筋コンクリート橋脚耐震補強	鋼板巻立て工法	溶接前の検査（仮付け溶接前：開先形状及び組立て溶接の有無と取除き状況、仮付け溶接後：仮付け溶接の状況及び開先の洗浄度）	○	
	Ⅲ7-2 鉄筋フレア溶接継手	鉄筋フレア溶接継手	溶接施工基準試験（外観・形状寸法、引張試験、断面マクロ試験）	○	
	Ⅲ7-2 鉄筋フレア溶接継手	鉄筋フレア溶接継手	日常管理試験（外観、形状寸法、引張試験、断面寸法）	○	
	Ⅱ7-3 制震ダンパー	制震ダンパー	基本性能試験	○	
	Ⅱ7-3 制震ダンパー	制震ダンパー	寸法・外観（組立寸法、外観目視）	○	
	Ⅱ7-3 制震ダンパー	制震ダンパー	防錆（溶融亜鉛めっき付着量、塗装塗膜厚）	○	
トンネル施工管理要領（本体工編）	1-5 日常管理試験	内装工 タイル直張り	付着状況確認		(イ)
	1-5 日常管理試験	内装工 タイル直張り	タイル接着試験	○	
	1-5 日常管理試験	内装工 （タイル直張り）視線誘導ライン	付着状況確認		(イ)
	1-5 日常管理試験	内装工 （タイル直張り）視線誘導ライン	タイル接着試験	○	
	13-2 出来形基準	トンネル（本体工） 吹付コンクリート工	厚さ	○	
	13-2 出来形基準	ロックボルト工	出来形（長さ）	○	
	13-2 出来形基準	覆工	型わく据付後の測定	○	
	13-2 出来形基準	覆工	覆工厚の測定	○	
	13-2 出来形基準	覆工	トンネル内空の測定	○	
	13-2 出来形基準	内装工 タイル直張り	タイルの剥離・浮き・ひび割れの確認		(イ)
	13-2 出来形基準	内装工 視線誘導ライン（塗装）	表面塗膜		(ア)
	13-2 出来形基準	内装工 視線誘導ライン（塗装）	密着強度	○	
	13-2 出来形基準	内装工 視線誘導ライン（タイル）	タイルの剥離・浮き・ひび割れの確認		(イ)
	舗装施工管理要領	Ⅱ 建設工事関係 Ⅲ 補修工事関係 1-2 試験練り	試験練り	試験練りにおける試験項目	
Ⅱ 建設工事関係 Ⅲ 補修工事関係 1-3 試験舗装		試験舗装	試験舗装における試験項目		(ア)
Ⅱ 建設工事関係 Ⅲ 補修工事関係 1-4 本施工		締固め度	締固め度試験実施箇所抽出（マーキング）、 マーシャル試験の供試体密度	○	
Ⅱ 建設工事関係 4-7 検査 出来形検査基準		床版防水システム （グレードⅡ）	出来形検査項目全般 （下記を除く）	○	
Ⅲ 補修工事関係 3-9 検査 出来形検査基準		床版防水システム （グレードⅡ）	既設床版 凹凸形状		(ア)(イ)
Ⅱ 建設工事関係 4-7 検査 出来形検査基準		床版防水システム （グレードⅡ）	新設床版 表面状態		(ア)
Ⅱ 建設工事関係 4-7 検査 出来形検査基準 Ⅲ 補修工事関係 3-9 検査 出来形検査基準		床版防水システム （グレードⅠ・Ⅱ）	防水性 塗布量の管理	○	
Ⅱ 建設工事関係 4-7 検査 出来形検査基準 Ⅲ 補修工事関係 3-9 検査 出来形検査基準		床版防水システム （グレードⅠ・Ⅱ）	防水性 キズ、気泡、塗りむら、はがれ、シワ、 膨れ		(ア)(イ)
Ⅱ 建設工事関係 4-7 検査 出来形検査基準		床版防水システム （グレードⅡ）	接着性 橋梁レベリング層の浮き		(ア)(イ)
Ⅲ 補修工事関係 1-3 試験舗装		試験舗装を実施しない場合	詳細施工計画書通り施工されているか施工 初日に確認する		(ア)

適用性「○」は、遠隔現場が現地立会による確認行為と同等と評価できる項目

備考欄は、遠隔現場による検査等が現地立会による検査等と同等と評価できないと判断している理由※理由(ア)(イ)(ウ)は実施要領第3章参照

施工管理要領	品質管理項目	工種	項目	適用性	備考
レーンマーク 施工管理要領	3. 試験施工	試験施工	塗料・ガラスビーズ吐出量 施工パターン・施工幅 施工速度		(ア)
防護柵施工管 理要領	4. 製品の寸法検査	寸法検査	部材寸法	○	
	6. 現場の検査	出来形検査	路面肩の天端高さ	○	
遮音壁施工管 理要領	3. 立会い検査	鋼管ぐい基礎	形状寸法	○	
	3. 立会い検査	鋼管ぐい基礎	外観	○	
	3. 立会い検査	鋼管ぐい基礎	中詰コンクリート		(ア)
	3. 立会い検査	直接基礎	コンクリート		(ア)
	3. 立会い検査	支柱	形状寸法	○	
	3. 立会い検査	支柱	外観		(ア)
	3. 立会い検査	支柱	溶接	○	
	3. 立会い検査	遮音板 土留板	形状寸法	○	
	3. 立会い検査	遮音板 土留板	外観		(ア)
	3. 立会い検査	付属物等	形状寸法	○	
	3. 立会い検査	付属物等	外観		(ア)
3. 立会い検査	付属物等	性能（穿孔式埋込ボルト）	○		
造園施工管 理要領	2-2-3. 職受講の出来形基準	植樹工	植栽本数		(ア)
	2-5-2. 支柱工の出来形基準	支柱工	支柱の組数	○	
	2-6-2. 根廻工の出来形基準	根廻工	根廻しの本数	○	
	2-7-2. 幹巻工の出来形基準	幹巻工	幹巻の本数	○	
	2-7-2. 幹巻工の出来形基準	幹巻工	幹巻テープの重ね幅	○	
	2-8-3. マルチング工の出来形基準	マルチング工	施工箇所	○	
	2-8-3. マルチング工の出来形基準	マルチング工	固定ピン数	○	
	2-9-3. 張芝工の出来形基準	張芝工	目串の本数	○	
3-3-3. 樹木名標板工の出来形基準	樹木名標板工	樹木名標板の基数	○		
管路工事施工 管理要領	17. 管路試験	通信及び照明用管路	通過試験	○	
	17. 管路試験	トンネル防災用管路	送水試験 水圧試験	○	

適用性「○」は、遠隔臨場が現地立会による確認行為と同等と評価できる項目

備考欄は、遠隔臨場による検査等が現地立会による検査等と同等と評価できないと判断している理由※理由(ア)(イ)(ウ)は実施要領第3章参照

工事共通仕様書	工種・項目	立会い・検査・試験	適用性	備考
建築工事 共通仕様書	1.20.8 材料の搬入及び検査	材料搬入ごとの検査	○	
	1.29.3 施工の立会い 1.29.4 施工の検査	施工後に検査が困難な箇所を施工する場合の立会い及び検査	○	
		監督員の指定した工程に達した場合の立会い及び検査	○	
		監督員が特に指示する場合の立会い及び検査	○	
	1.29.5 施工検査に伴う試験	試験によらなければ、設計図書に定められた条件に適合することが証明できない場合の試験	○	
機械設備工事 共通仕様書	1.20.8 機器及び材料の搬入及び検査	機器及び材料搬入ごとの検査	○	
	1.29.3 施工の立会い 1.29.4 施工の検査	主要機器が設置された場合の立会い及び検査	○	
		施工後に検査が困難な箇所を施工する場合の立会い及び検査	○	
		総合運転試験を行う場合の立会い及び検査		(ア)
		監督員の指定した工程に達した場合の立会い及び検査	○	
		監督員が特に指示する場合の立会い及び検査	○	
1.29.5 施工検査に伴う試験	試験によらなければ、設計図書に定められた条件に適合することが証明できない場合の試験	○		
電気通信工事 共通仕様書	1.20.8 機器及び材料の搬入及び検査	機器及び材料搬入ごとの検査	○	
	1.29.3 施工の立会い 1.29.4 施工の検査	主要機器が設置された場合の立会い及び検査	○	
		施工後に検査が困難な箇所を施工する場合の立会い及び検査	○	
		総合運転試験を行う場合の立会い及び検査		(ア)
		監督員の指定した工程に達した場合の立会い及び検査	○	
		監督員が特に指示する場合の立会い及び検査	○	
1.29.5 施工検査に伴う試験	試験によらなければ、設計図書に定められた条件に適合することが証明できない場合の試験	○		
施設保安全管理業務 共通仕様書	1-25-2 検査及び立会い願	監督員の指図がある場合の検査	○	
車両管理業務 共通仕様書	1-21-2 検査及び立会い願	監督員の指図がある場合の検査	○	